

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	12 その他事務管理(財産管理)
事務事業名	01	庁舎維持管理事業	
根拠法令・規程等		備前市公有財産規則	
問		担当課(室)	財政課
合		職・氏名	係長 芳田猛
先		電話	0869-64-1811
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	来庁者、職員
目的(何のために)	本庁舎、分庁舎の適正な管理等を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	良好な職場環境を維持し、コスト削減を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	庁舎維持管理業務	光熱水費の削減のため、デマンド管理による消費電力量の削減に努めました。庁舎の安全性確保のため、昨年に引き続き耐震診断調査を実施しました。	
	清掃業務	庁舎内清掃作業及び敷地内の剪定作業を職員で実施するとともに、指名競争入札によりワックスがけ等の清掃委託料の削減ができました。	
	補修業務	主なものは、自動ドア、トイレ、1階給湯室のタイル等の補修を実施しました。	
	共済業務	庁舎火災保険の継続加入等の手続き事務	
	工事業務	臨時交付金を活用した保健センター等省エネ改修工事や片上分庁舎の長寿命化工事を実施しました。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		33,936	64,262	67,898	
	必要人員(人件費)	千円	0.49人	3,750	0.69人	5,833
	事業費		37,686	70,095	71,748	
	国県支出金			28,259	36,901	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		37,686	41,836	34,847		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
経常経費	説明		老朽化した庁舎の維持管理費の実績(工事費は臨時経費として含めない。)			
結果指標量	事業		33,866	29,712	23,908	
対前年比	%			87.7%	80.5%	
活動コスト			37,686,000	70,095,000	71,748,000	
単位当たりコスト	円		1,113	2,359	3,001	

(平成22年度事業)

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	5,000	5,000	4,500	4,500
		実績値(B)	5,252	4,608	3,708	到達目標値
達成率(B/A)		95.20%	108.51%	121.36%	3,500	

成果指標設定の考え方・式や説明
 庁舎維持管理コストを算出することで、恒常的な経費削減を図る。(経常経費/延床面積6448㎡=単位:円)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	良好な庁舎(職場)環境にするため、将来の庁舎耐震化等を見据えながら、市民のご意見を大切に、少しでも改善できるよう修繕及び補修工事の実施に努めます。また、維持管理費の抑止として、引き続き電力使用量の削減に向けた取り組みを出来ることから実施します。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
コスト削減のため、デマンド管理を適切に行ない契約電力の抑制や削減が図れた。また、経済危機対策臨時交付金等を活用し、分庁舎等の庁舎(職場)環境の向上のためのペアガラス化や、片上分庁舎の長寿命化を図るための改修工事を実施しました。	評価区分 <A-E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	老朽化した庁舎の将来ビジョンを検討するまでの間、修繕及び工事費の歳出削減に努めながら延命化を図ります。また、平成23年度に引き続き、来庁者・職員の協力による節電行動の推進を図り、経費削減に努めます。					